



1983-1989

目標通り1部に昇格 結構明るい雰囲気だった。



県大会、佃先生に 誉められた

我々46期は、中一入部当時は正確に記憶していないのですが、20名くらいとかなりの人数がいましたが、引退試合の写真を見てみると13人になっていました。まあ学校をやめてしまったり、サブメンバーにいたことが嫌だったり、練習がきびしい、佃先生が厳しいと様々な理由、思いで退部していったのだと思いますが、手元に彼等の写真がない事をさみしく思います。

中学の時の思い出としては、最初の練習の時に第一グラウンドでヘディン

グの練習をしていると市川先生が寄ってきて「オイ、お前ら中一か？よし、ヘディングの見本見せたる、ボール投げてみ！」「オット、ヘアーが乱れるやんけ！」としゃべり、去っていった事、これが今でも一番印象に残っています。あと試合では、県大会(?)の若草戦、姫路まで行き、試合時間の9割以上攻められ防戦一方、力の差を思い知らされたが、試合は0-0、結局PKで敗れてしまった。くやしいという思いより、情けなかった。けれど帰りに、入部して初めて佃先生に「よくがんばった！」と言われた。

高校の試合の思い出は、高2の秋、北須磨戦、修学旅行の前で勝てば修学

旅行は行けなくなり、勝つつもりで旅行の用意をしていなく、敗けてしまって、前日くらいにあわてて用意をした記憶がある。

それと最後の公式戦の弘陵戦、押されながらも互角にたたかっていたが、後半、梅澤にシュートを入れられ1-0で敗け。

当時、弘陵に梅澤というジュニアユース代表がおり、前半は六甲相手という余裕からか出ておらず、後半引きずり出せたが、彼に入れられ負けてしまった。

中・高を通してこれといって華やかな記録、思い出というものはなかったが、自分達なりに精一杯がんばり、納



得出来たと思います。特に、高校時代の目標だった、一部に上がることが出来、それが一番うれしかったです。

それでは一緒にがんばってきた仲間について紹介していきたいと思います。あくまでも僕個人の意見、感想ですので、気に障ったとしても大目に見て下さい。

入江（キャプテン） 中学の頃は、すごく小さく頼りなかったけど、高校に入ってから、背と共に態度もでかくなり、とにかく、サッカー自体より精神的な支えとなってくれた。試合中、何度も入江の声に元気づけられた。練習時間中、佃先生にスライディングの練習を一人やらされていたキャップの姿、うう…

池崎克 マサルはとにかく速かった。スピードに乗ったらもう誰にも止められない。メンバーで一番強気で強引だった、というよりむこう見ず。変態。
小宮 パワフルandガッツマン。気が

強く練習もよくしてた、頼りになる存在。ただ怒ると恐いコミタン。

久保田 GKで横の反応はすごいけど、背が足りない。ちょっと変やけどおもしろい。でもロッカーはカビだらけ。

森本 ずっと一緒にDFをやっていたのだが、中学のはじめはFWにいたような…。速くて上手くて背も高く、おまけに顔もいい。そのせいか佃先生に「お前バンドやってるやろ。」と疑われる災難も。

橋本 高校の時は、マネージャーとしてよく頑張ってくれ、イヤな顔一つせず楽しませてくれた。すごくいい人間なのだが、女、出来た?!

古結 基礎体力がなんかすごい。アクロバティックなプレーがよく出る出る。マジなんかボケなんかわからん話ぶりも魅力。

高橋 レッドフェイス高橋。すぐ顔が赤くなる。よく、笑えない冗談で場をシラけさしていたが、テスト前のノー

トはよく見せてもらった。

志野 「やめてやる。」と言いながら6年間続け、今もなおサッカー部の集まりには絶対顔を出さない。もう一度幻の左足を見たい。

伊井 「今日、佃先が北口いるらしいで!」と情報を持ちこみながらボウシをかぶらず一人つかまった伊井。サウスポーでボール使いも器用だったけど、パワー不足。根性なんて言葉が絶対似合わない奴。伊井、人の話は聞けよ!

安本 こうやって自分で書くと「自分の所なんて書かれてんのやろ?」って楽しみがないから、おもしろくない! 湯浅 橋本とマネージャーとして頑張ってくれてた。家が近くなのだが、いつも「チャラチャラしすぎじゃ」と言われてた気が…

とまあ、こんな具合ですが、ここに出てこなかった奴らも含めて、結構構っている雰囲気46期だったと思います。

[安本 賢司]